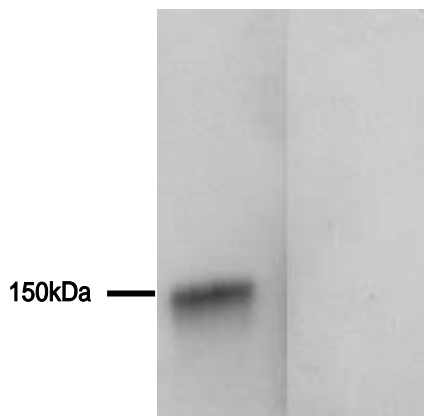


## 抗ラット Aldehyde Oxidase ポリクローナル抗体

Aldehyde Oxidase は類似酵素である Xanthine Oxidase とは異なり、異物における基質特異性はアルデヒド類から複素環式化合物まで幅広く、動物間の種差、ラットにおける系統差の存在が知られています。近年、Aldehyde Oxidase はレチノールを生理的基質として細胞の分化、増殖に関与していることが示唆されています。また、Aldehyde Oxidase により産生される活性酸素が筋萎縮性側索硬化症や再灌流障害の原因と言われていいます。しかし、実際のところ Aldehyde Oxidase の生理的役割についての解明は未だ充分ではありません。

本抗体は、類似酵素 Xanthine Oxidase との反応性が低いのに対し、ラット肝の Aldehyde Oxidase を特異的に捉えることができます。また抗血清を用いた実験では、Aldehyde Oxidase 活性を阻害することがわかりました。Aldehyde Oxidase の機能解明や、病態への影響を研究する上で有用であると思われます。

容量	25 $\mu$ g (100 $\mu$ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース (安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	-20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ラット肝より精製された Aldehyde Oxidase タンパクを免疫し、得られたウサギの抗血清より、抗原アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 0.5 ~ 2 $\mu$ g/mL



### ウェスタンブロットティング

Sample :

ラット肝より精製した Aldehyde Oxidase (0.04  $\mu$ g)  
精製 Xanthine Oxidase (0.1  $\mu$ g)

提供:

東北薬科大学 第一薬剤学教室

田中 頼久 先生

増淵 暁子 先生

## 抗ラット Aldehyde Oxidase ポリクローナル抗体

### 【参考文献】

1. Beedham C. : Drug Metab Rev. 1985;16(1-2):119-56
2. Kisker C. et al. : Annu Rev Biochem. 1997;66:233-67
3. Wright RM. et al. : J Biol Chem. 1999 Feb 5;274(6):3878-86
4. Maia L. et al. : Arch Biochem Biophys. 2002 Apr 1;400(1):48-53
5. Beedham C. 'Molybdenum Hydroxylases.' *In Enzyme Systems that Metabolise Drugs and Other Xenobiotics*, Ioannides C. and John Wiley (ed.), New York, 2002, 147-87

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp